

親睦と地域貢献もさらに充実！

●春日部地区浦高会総会・懇親会！

9月6日(日)午後4時30分から、春日部駅西口の“やまや新館”にて、川野幸夫・浦高同窓会会長、杉山剛士・県立浦和高校校長のお二方をご来賓にお迎えして、「春日部地区浦高会 第15回総会」が開催されました。会員28名が総会参加。

進行役の由木 智幹事(36回卒)の開会宣言の後、三輪昭彦会長(15回卒)からのご挨拶。「皆様、こんにちは。本日はお忙しい中、また雨模様で足元の悪い中を会員の皆様、また本部からは川野同窓会会長、杉山校長先生にご臨席賜り、第15回総会を開催することができますこと、ありがとうございます。春日部地区浦高会は、24ある地域・職域同窓会の中でも事業活動が活発な同窓会としてお褒めをいただいております。これもご参加いただける会員の皆様のご協力の賜物と心から感謝申し上げます。今年は酷暑が一段落したと思いましたが、どうぞ体調を整えていただき、これからご提案させていただきます27年度事業にご参加、ご協力いただきますようお願いし、ご挨拶とさせていただきます。」

続いて、ご来賓の紹介、議事と続き、提案された議題すべてが満場一致で承認されました。

【議事】

◆平成26年度事業報告

(説明者：牛久保事務局長)

- ・26年9月7日、第14回総会
- ・26年10月8日、第24回ゴルフコンペ
- ・26年10月18日、第1回「チャペルで楽しむクラシックコンサート」
- ・27年2月1日、第10回春日部麗しの杜（樹名板取付と野鳥観察会）
- ・27年2月1日、第14回賀詞交歓会
- ・27年4月12日、第5回小旅行「浦高百年の森と鉢形城の旅！」〔写真右上〕
- ・27年4月23日、第25回ゴルフコンペ
- ・27年6月13日、第1回新・春日部市施行10周年記念「音楽の都ウィーンからの贈り物 ～世界の名曲集とオペラ」〔写真右下〕 など17事業。



◆平成26年度収支報告

(竹内会計)

- ・本会計収支・・・911,139円
- ・麗しの杜会計・・・支出0円
- ・音楽の都ウィーンからの贈り物事業会計・・・支出490,440円(7月4日現在)

◆監査報告 (鈴木監事)

- ・全てにおいて適正であったことの報告。

◆地域職域理事推薦

(趣旨説明：鳥井副会長、理事推薦：三輪会長)

- ・同窓会会則改訂に伴い、地域職域同窓会から理事1名を選出することとなり、香田君(25回卒)を春日部地区浦高会から推薦する。

◆平成27年度事業計画

(牛久保事務局長)

- ・27年9月6日、第15回総会
- ・27年10月24日、第6回小旅行「浦高公開授業と浦高施設見学」など16事業。

◆平成27年度予算

(竹内会計)

- ・本会計収支・・・766,000円
- ・音楽の都ウィーンからの贈り物事業会計・・・800,000円

＊ ＊

続いて、ご来賓の川野幸夫・浦高同窓会会長(13回卒)のご挨拶。

「本日は、春日部地区浦高会第15回総会にお招きいただきありがとうございます。今年母校・浦高は120周年を迎えました。同窓会におきましても100周年、110周年と10年ごとに周年行事を行ってまいりましたが、120周年は奨学財団の設立を行わせていただきました。また現在、浦高は杉山校長先生をはじめ多くの先生方のご努力もあって、そのプレゼンスが高まっており、埼玉の浦高から日本の浦高、世界で活躍する人材を輩出する浦高へと進んでおり、同窓会も転換期にあります。そこで、昨年から常任理事の皆様にご協力いただき、「同窓会あり方検討委員会」を設置して同窓会のあり方についても議論を深めていただきました。その第一歩として今年の総会にお



いて同窓会会則の改定をさせていただき、理事の推薦制度や常任理事の選出方法などが大きく変わり、本日も議事の中で春日部地区浦高会から理事を選出していただいたところです。選出していただいた理事の皆さんとともに、母校・浦高のためになる同窓会活動を積極的に進めてまいりたいと思っております。私は、地域職域同窓会が同窓会の原点・基本であると思っています。その中でも春日部地区浦高会は、親睦だけでなく、地域貢献活動などさまざまな活動を積極的に行い、地域職域の中でも模範的な会でございますので、これからも地域職域のリード役として活発な活動を期待しております。本日はおめでとうございます。」

ありがたいご祝辞を頂戴し、総会が無事終了となりました。ここで、三輪会長から川野同窓会会長に「県立浦和高等学校同窓会奨学財団」への寄付金が贈呈されました。



総会後の講話は、杉山剛士・県立浦和高校校長による「浦高の現在と未来」ですが、詳細は次号にて綴らせていただきます。

＊ ＊

午後 6 時、懇親会の始まりです。進行は池田博行さん(44 回卒)です。

「ただ今の杉山校長先生のお話の中で、浦高の伝統は“各種行事での雨天決行”とありましたが、私たちが 2 年生の時に土砂降りの中で古河強歩大会が開催され、事前通知では“小雨決行”とあったものが“荒天決行”に改められた覚えがあります。もしかすると、私たちの代が伝統の“雨天決行”の始まりだったのではないかと感慨深くお伺いしました。」



続いて、私・香田(25 回卒)から「春日部地区浦高会からの理事に選出いただきました香田でございます。これまで 3 年間に亘り浦高同窓会の常任理事を務めてまいりましたが、同窓会では浦高百年の森や奨学財団など母校や地域貢献のためにさまざまな事業を行っております。これからも川野会長を支えて一生懸命に働かせていただきますので、どうぞ皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。」



乾杯の音頭は清水幹夫さん(9 回卒)。「皆さん、こんばんは。春日部地区浦高会は、麗しの杜づくり活動やコンサート事業など地域貢献活動を行い、非常に活発になってまいりました。これも三輪会長を中



心として事務局・幹事の皆さんのご努力と会員の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。若手の会員も多く、これからもさまざまなアイデアを出していただき新たな事業を生み出していただければ幸いです。それでは、ご参加の皆様のご健勝と、浦高同窓会と春日部地区浦高会のみずみずの発展を祈念して乾杯！」



を務めております藤野でございます。岩本さんとは同期で、彼が応援団の団長、私が副団長という間柄です。前職は県職員でして、入庁した時に春日部駅東口の地方庁舎に配属になったため、総会会場がヤマヤだとい、串カツ定食が有名だった東口の食堂を思い出しました。さて、本日は最近の話題を 2 つご紹介させていただきます。一つは浦高のシンボル銀杏樹の話です。浦高の校章にもなっている銀杏ですが、校内には何本かの銀杏樹があり、その中でシンボルの木はどれかといいますと校庭の一番南にあり、浦中時代に鹿島台（現在の埼玉県知事公館）から昭和 12 年に移植された木です。生徒のランニングコース

心として事務局・幹事の皆さんのご努力と会員の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。若手の会員も多く、これからもさまざまなアイデアを出していただき新たな事業を生み出していただければ幸いです。それでは、ご参加の皆様のご健勝と、浦高同窓会と春日部地区浦高会のみずみずの発展を祈念して乾杯！」

ここでしばしの歓談。
近況報告では、**藤野龍宏・浦高同窓会事務局長(22 回卒)**
「4 月から同窓会の事務局長



〔浦高シンボルの銀杏樹〕



〔木道制作の野球部生徒〕



〔資料展示室ポスター〕

となり根本が踏み固められていたため、今年 7 月に根元を守る木道のランニングコースを手作りで設けました。二つ目は展示室のリニューアルです。今週

末 12 日・13 日の浦高祭に合わせて急ピッチで工事等を進めていますが、完成というところまではどうでしょうか。10 月 24 日に春日部地区の皆さんが来られると伺っておりますので、その時には完璧な状態でご説明ができると思います（笑）。あとは資料「同窓会事務局からのお知らせ」をご覧くださいければ幸いです。」



続いて、根本 崇さん(16 回卒、野田市長)「野田市で行いましたコウノトリの放鳥についてお話したいと思います。3 年前に多摩動物園から譲り受けて繁殖を重ねてきて、今年、文科省の許可が得られましたので、今年 3 月に生まれ

れた 3 羽の放鳥を 7 月に行いました。このうちの 1 羽は野田市の利根川対岸に、残りの 2 羽は宮城県登米市や仙台市周辺で確認されているようです。コウノトリは帰巢本能がありますので、いずれは野田市に帰ってくるものと思います。日本国内で放鳥しているのは、豊岡市と野田市ですが、日本全国で生物多様性環境を整えてコウノトリの餌となるバッタやドジョウなどが生息できる環境を作りたいと思います。これは一自治体だけでできることではなく、国や県といった広域での仕事ですが、野田市ではこれからも積極的に取り組んでまいります。」



続いて、鈴木 孝さん(10 回卒)「ここ 2~3 年は目が悪くなり出席は遠慮していましたが、大先輩たちが出席されていたので参加させていただきました。高校在学中は、先生たちが労働組合の話をしていたので覚えています。高校時代の 3 年を思い起こすとさまざまなことがありましたが、とても楽しいものでした。本日は杉山校長先生から『浦高の現在と未来』を伺いましたが、素晴らしい環境と精神で育っていく学生たちの未来が楽しみです。ありがとうございました。」



続いて、青鹿義和さん(24 回卒)「私が 1 年生の時に、岩本さんや藤野さんが 3 年生の応援団にいらっしゃって、とても怖かった思い出があります（笑）。現在、幸手で幼稚園【幸手白百合幼稚園、写真次】を運営しているのですが、私のところの特徴は食育と漢字学習で

す。食育では自分たちで野菜を作り、自園給食で調理提供することで好き嫌いのない子どもたちを育てています。漢字学習は、私が漢字を好きだったというこ



とが発端ですが、“部首カルタ”や“四字熟語カルタ”などを作って遊びながらの漢字学習に取り組んでいます。子どもたちにとっては画数の多い難しい漢字の方が楽しいようで抵抗なく覚えています。四字熟語では“虎視眈眈”“危機一髪”などという言葉をよく覚えています。響きの良い音（おん）で覚えるのだと思います。最初は 10 枚ほどだった“四字熟語カルタ”も現在は 30 枚になっています。子どもたちの可能性、才能が広がっていく国語力を付ける教育にこれからも力を入れたいと思っています。」



続いて、林 亮平さん(52 回卒、34 歳)「大先輩の皆様の前で最年少会員ということで緊張しています。今日は杉山校長先生から“三兎を追え”という言葉

を久しぶりに伺いして、高校時代のことを懐かしく思い起こしました。私の大好きな言葉の一つです。実は、春日部地区浦高会には 10 年位前に職場で香田さんから声を掛けられたのですが、その時は“今は呼ばないけれども 30 歳になったら入会しなさい”と言われ、3 年前に“そろそろ入会しなさい”と言われ会員になりました。近況報告ですが、現在、春日部市役所行政改革推進課で公共施設マネジメント計画を担当しています。数年前に起こった高速道路でのトンネル天井崩落事故がきっかけとなり、公共施設の老朽化に対して総合的な対策を検討していくというものです。公共施設の維持・改修に当たっては、市の厳しい財政状況もあり、場合によっては施設を減らすことも検討しなければなりません。ただ施設を減らすだけでなく、これからの時代の中で必要とされる施設については増やしていくということも大切なことであり、皆様の生活につながる重要な仕事だと思っています。こうした状況をご理解いただき、ご協力いただければと思っています。これからもよろしくお願いいたします。」

さて、締めは 22 回卒の応援団長と副団長の指揮による校歌斉唱とエールです。参加者 32 名が一体となり、賑やかに楽しい一夜となりました。





皆様、ありがとうございました。